



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: そうや さん からの質問
アフリカゾウのきばみたいなのは
なんですか

ご質問、ありがとうございます。

質問してくれたとおり、ゾウの口元に生えているのは、「牙(きば)」です。今日は、アフリカゾウの牙について、解説をしていきたいと思います。

アフリカゾウには、オスとメス、両方に牙が生えています(ただ、牙のない個体も少数ですがいるようです)。体が大きくて、大きな牙があるのがオス。体が小さくて小さな牙があるのがメスです。



野生下では、ゾウの牙は、色々なことに使われます。例えば、地面の下に流れている水を飲むために、牙で地面の土を掘ったり、食べるために木を倒したり、木の皮を剥いだり。時にはゾウ同士の戦いでも使います。当園にいるアフリカゾウも牙を器用に使っています。



ちなみに、牙と聞くと、ライオンやトラなどをイメージされる方も多いのではないのでしょうか。ライオンやトラなどの牙と、アフリカゾウの牙は、どちらも歯が大きく発達したのですが、実は、発達した部分が違います。ライオンやトラなどの肉食獣で発達しているのは、前歯の横にある「犬歯(けんし)」と呼ばれる部分です。大きな犬歯で獲物の首に噛みつくことで、獲物を捕らえることができます。

一方で、ゾウの牙は「切歯(せっし)」、いわゆる前歯が発達したものです。ビジターセンターには、アジアゾウの骨格標本が展示されていますので、ぜひ頭のつくりをじっくり見てみてくださいね。